

第 3 回で出された主なご意見

○今後の地方創生の方向性について

- ・ 具体的な施策に落とし込んだ時にどれだけ実効性のあるものとするかの工夫が必要。その際、地域に定着し、地域の人が回していけるような仕組みを作ることが重要。
- ・ 地域における内発的な発展を促すためには、地域の人が育ち、ノウハウや仕組みが定着する形で事業を行うことが重要。
- ・ 地域の一人一人が我が事ととらえられるような地方創生を目指すことが重要。
- ・ 都市間競争を行う経済都市と、非経済的な価値を生かす田園都市で目指す方向性が変わってくる。田園都市においては、公共公益的な事業を対象に、PFS (Pay For Success) などを活用してアップサイドを追求していく取組によって民間資金を獲得する視点なども重要。
- ・ 中長期的に産業育成や関係人口創出を図るためには、若者が学び、地域と関わる基盤を作っていくことが重要。若者が地域と関係性を維持・発展できるための投資を提供できる仕組みを地域に作っていくべき。
- ・ 企業が人材を地域に派遣してくれる仕組みは地域にとってありがたい。そのような取組が、企業側にもメリットが感じられるようなものとなることが重要。
- ・ 小規模自治体は、人口減少を前提として個性ある取組を通じて、ソーシャル・キャピタルの高い、人を惹きつける地域づくりを目指すことも考えられる。

- ・地域包括ケアシステムや GIGA スクールなどを通じて暮らしそのものに ICT が大きく影響を与えている。これからの時代を変える、暮らしの中でのイノベーションといえる。
- ・地方と都会の格差の是正のためにネット環境は大きく貢献しうる。住民のリテラシーを高めることも重要。
- ・テレワークの定着のためには、国民の意識・行動変容だけではなく、テレワーカーと継続してコミュニケーションをとるなど、企業の意識も変わらないといけない。

○とりまとめのたたき台について

- ・地方創生がうまくいかないところをどう後押しすべきか、誰が主体となって地方創生の取組を進めるべきなのかという観点を盛り込むべき。
- ・国には、地方創生の大きな方向性を示した上で、地域の自律的な取組のための仕組みづくりや人材育成の支援に取り組んでもらいたい。
- ・国として取り組むべき点と地域の主体に期待したいところを明確にすべき。
- ・地域の良質なコミュニティがうまく機能していくために必要なことを打ち出せるとよい。